

科目名		学年
経営情報工学特論 I : Management Information Engineering I		1K
教員名 松野成悟 : MATSUNO Seigo		
単位	授業時間	科目区分
2	100分×15回	必修
授業形態 講義・後期		
授業概要	本授業は、経営情報学の研究上の特徴や方法論などを講義し、企業経営上の今日的な課題を、経営情報学アプローチから分析・考察・解決する能力を養うことを目的とする。そのため、具体的なケースを討議することによって、経営学・会計学・ミクロ経済学等の知識を総合して企業経営に関する諸現象を分析・説明する手法を学ぶ。	
到達目標		評価方法
(1)経営情報学研究の特徴と方法論について理解できる。		輪講で評価する。
(2)経営情報学分野の文献をサーベイし、資料やデータの収集、分析等ができる。		輪講で評価する。
(3)企業経営上の課題を、経営情報学の観点から分析し、解決することがめざせる。		自学自習によるレポートで評価する。
学習・教育目標 (C)②		JABEE基準1(2)
		(d)-(1)
回数	項目	内容
第1	ガイダンス	本授業の概要を説明し、到達目標と評価方法を受講者に周知徹底する。
第2	経営情報学研究の特徴と方法論	経営情報学の特徴と方法論について説明する。
第3	経営情報学分野の研究技法①	経営情報学分野の資料収集、調査、データの分析・加工などの方法と技術について説明する。
第4	経営情報学分野の研究技法②	経営情報学分野の資料収集、調査、データの分析・加工などの方法と技術について説明する。
第5	組織構造の規定要因に関する事例研究①	ケースの概要を理解し、各種分析手法の有効性を議論する。
第6	組織構造の規定要因に関する事例研究②	ケース分析から得られる含意を議論する。
第7	経営戦略の立案に関する事例研究①	ケースの概要を理解し、各種分析手法の有効性を議論する。
第8	経営戦略の立案に関する事例研究②	ケース分析から得られる含意を議論する。
第9	競争戦略に関する事例研究①	ケースの概要を理解し、各種分析手法の有効性を議論する。
第10	競争戦略に関する事例研究②	ケース分析から得られる含意を議論する。
第11	多角化に関する事例研究①	ケースの概要を理解し、各種分析手法の有効性を議論する。
第12	多角化に関する事例研究②	ケース分析から得られる含意を議論する。
第13	戦略と財務分析に関する事例研究①	ケースの概要を理解し、各種分析手法の有効性を議論する。
第14	戦略と財務分析に関する事例研究②	ケース分析から得られる含意を議論する。
第15	まとめ	本授業内容のまとめを行う。また、授業評価アンケートを実施し、理解度や目標到達度を確認する。
自学自習の内容	レポート課題を課す。	
関連科目	経営管理特論	
教科書	適宜プリントを配付する。	
参考書	中小企業診断士 2次試験事例攻略のセオリー(村井信行, DAI-X出版)	
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。	
副担当教員		
備考		